

令和5年度活動報告

一般社団法人 こころのケアまごころ

【ウクライナ避難民支援(日本国内)】

(1) 精神科医による遠隔診療の実施

精神科医による遠隔診療の実施 4回(10名)、ケースカンファレンス(丹羽医師と事業管理者による)3回、避難民のマイボーム腺機能不全の症状がある裨益者より IPL(Intense Pulsed Light)手術の可否について相談があり、精神科医を通じて眼科の専門医にリファerralを実施。

(2) 臨床心理士による遠隔心理ケア

避難民の子どもに対し、母親を通じた事前アンケート(SDQ:子どもの精神的健康状態を計るアンケート)を4名に実施。その結果を臨床心理士が分析し、母親にフィードバックを行った。

(3) 対面での健康面の相談対応、通院同行支援

- ・対面での健康面の相談対応 2名、通院同行支援4名(6回)、ウクライナ避難民への心的ストレスヒアリング。
- ・癒し効果のあるアロマ配布を通じた避難民への相談対応 3名に実施 ・鎌ヶ谷市に避難したウクライナ難民の身元保証人からの支援要請(アロマなど)への対応を行った。
- ・音楽療法士とウクライナ避難民への心理ケアプログラムについて打ち合わせ、音楽療法を実施した。

【ウクライナ避難民支援(モルドバ国内)】

- ・モルドバ共和国で、ウクライナ避難民のこころのケアベースライン調査、癒し効果のあるアロマ物資配布をおこなった。
- ・現地コーディネーターとの対面での情報交換を行った。
- ・現地カウンターパートである Regina pacis と協働会議を実施した。

【避難民支援(ウクライナ国内)】

- ・キーウ在住の心理カウンセラーとのこころのケアに関する連携を開始し、ウクライナの方々の特性などアドバイスを定期的に受けた
- ・ハルキウ在住の避難民支援活動家への癒し効果のあるアロマ製品の物資支援をおこなった。

【能登半島地震支援】

(1) 七尾市の3ヶ月児健診

看護師を七尾市子育て健康福祉課の要請により健診時に看護師派遣

(2) 輪島市東陽中学仮設診療所

輪島市健康福祉課より、常駐の形での看護師派遣要請があり、保健師・看護師1名を派遣した。主な業務として医師の助手、アウトリーチ活動のサポート、高齢被災者の入浴介助など担った。

【スタッフ研修】

- ・プログラムオフィサー1名を外務省のNGOスタディプログラムによりモルドバに派遣し、国際人道支援について学ばせた。

【主な受取助成金・寄付金】

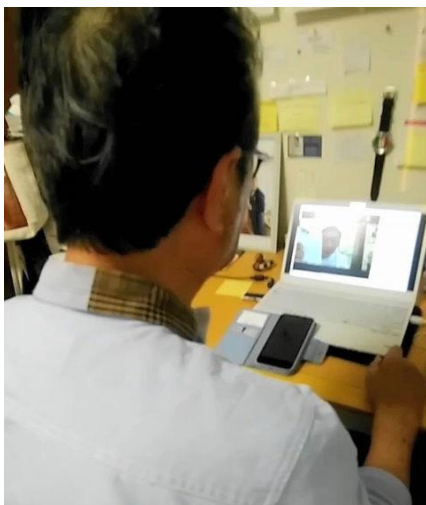
(円)

日本財団	2,970,000	(ウクライナ避難民支援)
風に立つライオン基金	300,000	(能登半島地震支援)
日本財団能登半島地震	1,000,000	(能登半島地震支援)
JICA 補助金	390,669	(NGOスタディプログラム)
ドテラジャパン寄付金	260,800	(ウクライナ避難民支援)

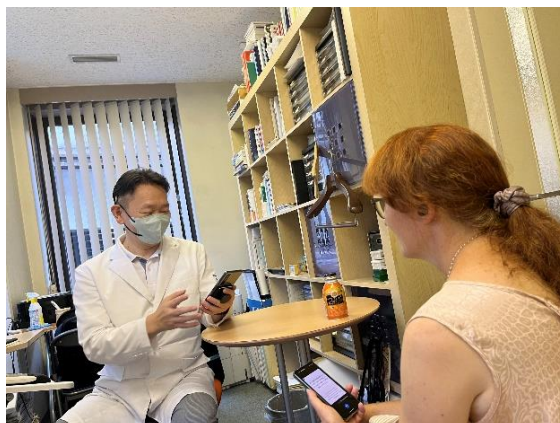
【イベント】

- ・能登半島チャリティコンサート会場に能登半島地震の被災地写真を展示
- ・神戸市で開催された「発行されなかった卒業証書展（教室が戦場が変わるとき、勇敢が君の専攻になる）」に参加

【支援活動写真】



医師による遠隔診療の様子 zoom 画面



精神科医院への同行支援



(発行されなかった卒業証書スピーカー)



モルドバキシナウ市内の避難所



モルドバコーディネーターうち合わせ



ウクライナの子どもへの音楽療法



仮設診療所診察支援



輪島市町野地区の状況



故障したレントゲン装置



七尾市母子健診支援



ハルキウ避難民への物資支援



能登チャリティ会場写真展示